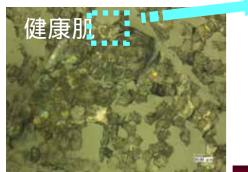
角層におけるラメラ液晶の回復(剥離角層の解析)

ペリセア処理により、角層内のラメラ液晶の回復が見られる。

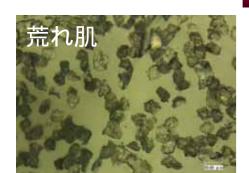


健康肌では、角層細胞(深緑色部分)は、ラメラ液晶構造(虹色に輝い ている円部分)をとった細胞間脂質に囲まれている。 荒れ肌では、ラメラ液晶構造は観察されない



3日後

6日後

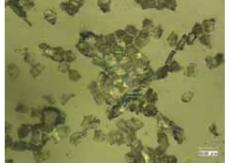


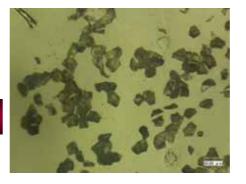
ペリセア処理

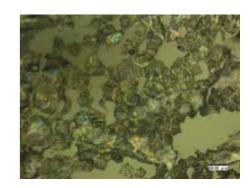


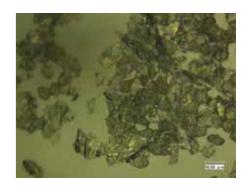


水処理









肌荒れ作成後(SDS10%塗布)、固形分0.72%(有姿2.5%)のペリセア水溶液を1日2回塗布後、 マイクロスコープ(VHX-900(キーエンス))により観察。 塗布量:2 µ L/cm²